

輸出事業計画

静岡オーガニック抹茶株式会社、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

当社は、連携する茶生産者等から碾茶を仕入れ、抹茶に加工し、連携する茶商を通じて海外へ輸出を行っている。茶生産者と茶商をつなぐバリューチェーンを構築しており、茶の高付加価値化による茶産地の生産基盤強化及びグローバル産地形成を目指している。

海外では、健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、抹茶を含む粉末状茶を中心に茶の需要が高まっており、令和6年の緑茶輸出額は過去最高となる364億円となった。

【課題】

世界的に拡大する抹茶需要に対して、供給が不足している状況である。

- ・生産者と連携した碾茶の生産拡大
- ・当社抹茶加工施設における加工能力増強

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・製造】

- ・連携する碾茶工場における生葉農家への被覆栽培技術や有機栽培技術の提供、被覆資材の貸出し等の取組みを拡大させ、従来の煎茶生産から碾茶生産へのスムーズな転換を支援する。
- ・定期的な生産者会議の開催により、生産計画の共有、碾茶品質の確認、有機栽培管理技術の共有を図り、碾茶の高品質化による取引価格の向上を図る。

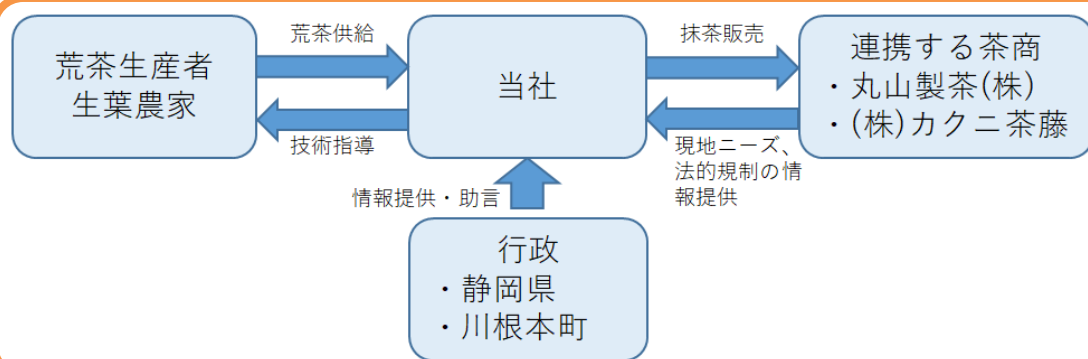
【加工】

- ・当社抹茶加工施設における碾茶仕上げラインの機械増設、粉碎工程におけるビーズミルの導入を行い、抹茶加工能力の増強を図る。
- ・粉碎工程におけるビーズミル導入により、既存の粉碎機と併せて粉碎工程のバリエーションを確保し、海外取引先からの要望に応えた抹茶生産体制を構築する。

【販売】

- ・マーケットの需要に対応した、安定した品質と量の抹茶供給体制を構築することで、連携する茶商の販路維持拡大に貢献する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	令和5年（現状）	令和8年（目標）
輸出向け抹茶出荷量(t)	172.1	249.5
輸出向け抹茶販売額(千円)	473,931	697,242
輸出先国	アメリカ、欧州、アジア等	アメリカ、欧州、アジア等